

基本目標1. 確かな学力の育成に向けたICTを活用した効果的な指導の充実		年間計画												進捗状況(令和4年8月末時点)		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(1) New草津型アクティブ・ラーニングの推進																
周知・啓発、実践事例の収集、授業実践事例集および実践動画集の作成、全校への共有	New草津型アクティブ・ラーニングについて、教育委員会主催の研修会や学校訪問で周知・啓発を行い、全ての教員がその趣旨を理解し、1人1台端末を効果的に活用する授業を実践できるようにします。	市教委主催の研修会での周知・啓発①	市教委主催の研修会での周知・啓発②	(随時) 学校訪問での周知・啓発、実践事例の収集および実践動画の作成	市教委主催の研修会での周知・啓発③					市教委主催の研修会での周知・啓発④			市教委主催の研修会での周知・啓発⑤	実践事例集・動画集の作成、周知		
校内研究授業や教科等部会別研究会での研究授業でのICT活用の促進	校内研究授業や教科等部会別研究会の研究授業でのICT活用を促し、各教科等の特性を生かしたICTの効果的な活用方法を研究します。	研究授業でのICT活用の促進呼びかけ①	(随時) 校内研究および教科等部会別研究会での研究授業の実施	研究授業でのICT活用の促進呼びかけ②												
第1期研究指定(小学校1、中学校1)研究結果の公表と普及	研究校を指定し(小学校1校、中学校1校)、New草津型アクティブ・ラーニングの推進について研究を行い、研究結果の公表を行って効果を市内全校へ普及させます。	(随時) 研究校への支援、指導・助言											研究結果の公表と普及			
学習者用デジタル教科書の調査・研究	文部科学省の事業で整備される英語等の学習者用デジタル教科書について、効果的な活用方法を調査・研究し、国の動向を注視しながら導入について検討を進めます。	年度初研修会の実施	(随時) 効果的な活用方法の調査・研究、実践事例の収集										年度末研修会の実施	事業成果の周知		
(2) 計画的なICT環境整備とICTを活用した学びの推進																
ソフトウェアの検討・整備	協働学習ソフトおよびデジタルドリルについて、選定のためのプロポーザルを行い、令和5年度当初から円滑に活用できる環境を整えます。								プロポーザルの実施契約				運用準備(教員への研修会の実施、端末設定、アカウント設定等)			
電子黒板の更新整備の検討	電子黒板については、整備から5年以上が経過し老朽化が見込まれることから、計画的な更新整備を検討します。その際、特別教室への配備も含めて検討を進めます。	学校間移動(必要な場合)	整備計画の検討	重点施策マネジメントでの協議(要求する場合)						予算要求(必要な場合)						
1人1台端末の更新にかかる国の動向等の情報収集	令和7年度に一般的な耐用年数である5年目を迎えるため、国の動向等を注視しつつ、令和7年度での機器更新について検討し、必要に応じて予算要求や関係部局との協議を行います。		機器更新についての検討	重点施策マネジメントでの協議(要求する場合)												
市教委主催の研修会の実施、学校訪問および各校研修会での周知	学習者用ツールやICTの有効活用方法について、市教委主催で毎年1回以上研修会を実施します。また、学校訪問や各校で実施される研修会でも情報を周知します。			市教委主催の研修会での周知①									市教委主催の研修会での周知・啓発②			
(3) 特別な支援や配慮を要する児童生徒に対するICTを活用した学びの保障																
アプリ活用促進のための体制確立	個々の児童生徒の習熟度・理解度に合わせて活用することができるアプリや教材について、1人1台端末にインストールできる体制を確立し、年間を通じて活用促進できるように体制を継続します。	体制確認	(随時) インストール可能なアプリの登録													
特別支援学級への学習者用デジタル教科書の導入に向けた検討	習熟度・理解度に合わせて活用することができる教材として、特別支援学級全児童生徒に学習者用デジタル教科書の導入検討を進めます。		導入検討	重点施策マネジメントでの協議(要求する場合)						予算要求(必要な場合)						
オフライン・アプリおよびオンライン教材についての研究	多様な学習機会を確保するために、オフライン状態で活用できるアプリや、自宅の端末からでもアクセスできるオンライン教材について研究します。また、アプリおよび教材の一覧を作成し、各校へ共有するとともに、市教委主催の研修会や学校訪問で各校に周知します。	アプリおよび一覧の作成	市教委主催の研修会での周知	(随時) オフライン教材についての研究、一覧への追加、一覧の周知(必要に応じて)												
学校へ登校しづらい児童生徒への「学びの保障」	学校へ登校しづらい児童生徒への、アプリや教材の活用、テレビ会議システムを活用した授業の配信や学習支援等を進め、学びを保障します。		(随時) アプリや教材、テレビ会議システムを活用した授業の配信や学習支援の実施													

・校長会や各研修会において、周知・啓発に努めている。

・研究指定校においては、研究計画に基づき、検証を行いながら計画的に研究を進めている。また、研究指定校とは別にNew草津型アクティブ・ラーニングのモデル授業を小学校2校、中学校1校で展開し、実践事例集に掲載予定。

・校内研究や教科等部会別の研究授業でのICT活用を促すため、個別ICT研修(依頼制)を新たに開催し、それぞれのICT活用指導力に応じた個別研修を実施。

・デジタル教科書については、全小中学校に英語科(外国語科)を導入。また、実証事業として10小学校及び全6中学校で算数・数学科、理科、生活科を導入。

⇒取組内容の詳細は【資料3】のとおり

・協働学習ソフトおよびデジタルドリルについては、New草津型アクティブ・ラーニングをはじめ、これまで活用してきた中で見えてきた課題や要望を踏まえ仕様書を作成し、さまざまな特徴を持つソフトの中から、草津市のめざすICTツールを活用した授業を実現できるものを導入できるように、プロポーザルの準備を進めている。12月ごろまでには、令和5年度から令和7年度まで導入するソフトが決定する予定である。

・電子黒板については、令和3年度末に各校2~3台ずつ、特別教室配備分を購入した。次年度以降の整備計画について検討し、財政部門とも協議を行った結果、現時点で令和5年度に追加購入整備予定はないものの、引続き、次年度以降の学級数の増減見込みを注視し、流動的な利用を含め適正台数の確保を行う。

・特別支援学級の学習者用デジタル教科書導入に向けては、拡大機能および音声機能、立体(3D)機能、動画機能等により、学びの困難さを軽減するとともに、個々の能力を引き出すことにより、学びの楽しさが実感できると考えられるため、令和5年度の導入に向けて重点施策マネジメントにおいて予算化の検討を行ったが、一方で、普通学級におけるデジタル教科書について、令和4年度に引き続き令和5年度も国の実証事業の見込みがあり、機能面で重なる部分もあることから、デジタル教科書の活用方法について基盤を構築する中で、連動して令和5年度に導入計画を立てていくこととした。

基本目標1. 確かな学力の育成に向けたICTを活用した効果的な指導の充実		年間計画												進捗状況(令和4年8月末時点)			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
(4) ICTを活用した家庭学習の充実																	
毎月1回以上の端末持ち帰りによるICTを活用した家庭学習の実施	毎月1回以上および長期休業中に端末を自宅へ持ち帰る機会を設け、ICTを活用した家庭学習を実施します。	●															端末持ち帰りについての見直し 6月…校長会にて再度月1回以上の持ち帰り及び長期休業中における持ち帰りの促進について周知し、通知文書発出。 【1学期の端末持ち帰り実施状況】 ・毎日実施…中学校1校 ・月1回以上実施…小学校2校、中学校1校 ・学期に1回程度…小学校11校、中学校3校 →今年度未実施の学校については、2学期より一層持ち帰りが進むよう管理職へ依頼。(小学校1校、中学校1校) 【夏季休業中の持ち帰り実施状況】 ・持ち帰りを実施した学校は小学校3校、中学校3校 8月…校長会にて、端末持ち帰りの促進について再度周知 ・コロナ禍においては、休日に学級閉鎖が決定する等、急なオンライン授業に対応できるよう毎週末の持ち帰りを推奨 ・月1回以上の家庭学習での活用 →令和5年度からはオンラインでの課題を含め、家庭学習のために週1回以上の持ち帰りを実施していくことを周知。
オフラインで使用できるツールの研究および家庭での学習モデルの作成および更新、教職員や家庭への周知	自宅のインターネット環境によらず、ICTを活用した家庭学習を行えるように、オフラインで使用できるツールの効果的な活用方法を研究し、家庭での学習モデルを作成して教職員や家庭へ周知します。	●		→													
(5) 効果的で工夫あるプログラミング教育の推進																	
より効果的なプログラミング学習の研究と実践	「草津モデル」をもとに、小学校1年生から中学校3年生まで、発達段階に応じたプログラミング学習を実施します。 「草津モデル」を基に、より効果的なプログラミング学習について研究し、Pepper社会貢献プログラムが終了する令和5年度以降のプログラミング学習を効果的に実践できるようにします。	●															・プログラミング草津モデルの見直し 4月 技術部会、数学部会にプログラミング学習の授業記録を依頼 小1～小6まで授業実践担当校を決定 6月 小2 国語 スイミー (Viscuit) 小6 家庭 クリーン作戦 (Scratch) 7月 中2 数学パブルソート (Scratch) ・Pepperプログラミングコンテスト 12月23日 表彰式及び発表会
(6) 遠隔授業による学びの充実																	
草津市の実践、国や先進自治体の事例の整理・収集と各校への周知	「英語教育オンライン授業」を継続するとともに、これまでの草津市の実践、国や先進自治体の事例を整理・収集して各校へ周知し、学びの充実を図ります。	●															下記のスケジュールでの英語教育オンライン授業の実施に向け、委託業者の決定および委託契約の準備を進めている。 (1月～2月) 中学3年生による英語オンライン授業の実施(生徒3名対外国人講師1名) (1月～2月) 小学4年生および小学6年生によるオンライン授業の実施(小4は1学級2回線、小6は児童3名対外国人講師1名) (3学期) 小学6年生の教室と中学生の教室をつなぎ、英語で学校紹介をする。
遠隔授業が可能な施設や団体についての情報収集とリスト化	遠隔授業が可能な施設や団体について情報収集を行い、学校のニーズに応えられるようにリストを作成します。	●															
(7) 非常時における学びの保障																	
モバイルルータを貸与する事業の実施	インターネットを活用した家庭学習ができるよう、必要に応じてインターネット環境がない家庭等にモバイルルータを貸与します。	●															教育ネットワーク外からもインターネットにアクセスできるよう設定し、感染症等による出席停止や学級閉鎖等により、体調は良好であるが登校できない児童に対して、オンライン授業を実施している。
優良事例の収集及び研修会の実施	非常時のオンライン授業の質的向上を図るために、優良事例を収集して実践動画や実践事例にまとめ、全校へ共有します。また、市教委主催の研修会で、年1回以上オンライン授業についての研修を行います。	●															
業者との連携、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化	保守業者やネットワーク整備業者と連携し、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化を図ります。	●															

基本目標2. 多様で変化の激しい社会を生き抜くための情報活用能力の育成と情報モラル教育の推進		年間スケジュール(案)											進捗状況(令和4年8月末時点)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 情報活用能力の育成														
・ 情報活用能力系統表の見直し	「小学校・中学校において身に付けさせたい情報活用能力系統表」について新学習指導要領に合わせた見直しを行います。													・1学期には、情報活用能力系統表の見直しを行った。また、作成した系統表を基に、情報活用能力育成を目指した授業プランの検討を行った。 ・2・3学期は、授業プランに基づく授業を実施・考察し、系統表の再検討を行う予定である。
・ 好事例の収集・共有	教科ごとの特質に応じた指導内容の事例等を収集します。													
(2) 情報モラルに関する指導の充実														
・ 実施計画の集約、優良事例の収集・周知	各校から情報モラルに関する学習活動の実施計画を集約します。													各校の情報モラルに関する資料を収集し、教育情報リーダー研修会において、共有し、事例研究を実施。併せて保護者向け研修・啓発のための動画リンク集を作成中。
・ 保護者向け研修・啓発の実施	情報モラルや機器の使用にかかるルール等の啓発動画を作成し配信することで、ルールを家庭とも共有します。													

基本目標3. 教員のICTを活用した指導力を高めるための研修および支援体制の充実		年間スケジュール(案)												進捗状況(令和4年8月末時点)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 教育情報化リーダーの育成														
・ 研修の実施(年5回程度)	ICT活用、情報活用能力の育成、プログラミング的思考の育成等に関する校内研究をマネジメントするリーダーを育成するための研修会を年5回程度、実施します。	第1回研修会の実施	第2回研修会の実施			第3回研修会の実施			第4回研修会の実施			第5回研修会の実施		教育情報化リーダーが学校及び草津市のICT活用を積極的に推進していくための研修を行っている。(第3回まで実施済) 【主な研修内容】 第1回…年間の見通し 各チーム(NewKAL,情報モラル、プログラミング、情報活用能力)ごとに分かれ、何を研究し、市内にどのように伝達していくか企画。 第2回…年間計画の作成 自校の強み、弱みを分析し、自校での研修内容を検討。 第3回…情報モラルの研修 講師を招き、研修会を開催(ICT部会と共催) (今後の予定) 第4回…プログラミング学習の研修 講師を招き、研修会を実施予定。 第5回…実践のまとめ 自校での取り組みおよび各チームごとの活動を報告。
・ リーダーによる校内研修会の実施(年3回程度)	教員一人一人のICT活用能力向上のために、自校の強みを伸ばし課題を克服する研修を年3回程度、実施します。	●	→	●	→	●	→	●	→					
(2) 教員間におけるICT活用格差の解消														
・ ステージ別ICT実技研修の実施(年2回程度)	希望する教員を対象に、一人一人の更なるICT活用指導力向上を図るため、それぞれのステージに応じたICT実技研修を年2回程度、実施します。		第1回初任者向け研修会 第1回中級者向け研修会			第2回初任者向け研修会 第2回中級者向け研修会								◎ステージ別ICT研修会 第1回 初級5/12 参加人数:7名 中級5/19 参加人数:19名 第2回 初級8/18 参加人数:5名 中級8/22 参加人数:5名 内容:協働学習ソフト、Teamsに関する研修
・ 市外からの転任者向け研修会の実施(年1回程度)	市外からの転任者を対象に、草津市のICT教育(ハード、ソフト)の理解を深めるための概要説明と、1人1台端末を効果的に活用した授業を展開するための実技研修を実施します。	研修会の実施												◎市外からの転任者向け研修会 4月21日 参加人数:16名 4月22日 参加人数:12名
・ オンライン相談の実施(随時)	教員のICT活用指導力の底上げを図るため、希望に応じて随時問い合わせを受け付けるオンライン相談会を実施します。	●			(随時) オンライン相談会の実施、相談内容の取りまとめ、周知(必要に応じて)									→ オンライン相談では、ミライシード、Teamsの使用に関する問い合わせに対応、オンライン相談後、問い合わせ校において、個別研修を実施する。教材共有ポータルサイト利活用に向けて、教育情報リーダー研修会や校長会等で周知を行っている。 ⇒取組内容の詳細は【資料3】のとおり
・ グループウェアの活用(随時)	グループウェアの機能を活用し、教員間の学び合いを促進することにより指導力の向上を図ります。	●	市教委主催の研修会での周知 市教委による、教員のポータルサイトへの登録		(随時) 「たび丸通信(ニュースレター)」による活用方法の紹介及び実践事例の収集、周知									→
(3) ICT支援員とヘルプデスクの設置														
・ ICT支援員の訪問支援(1校あたり月2回程度)	各学校の教員の実状やICT活用状況等を勘案しつつ、具体的な指導事例の提案や研修支援を進めます。また、学校のニーズに合わせた支援員の弾力的な配置を行います。	●			配置見直し① 月1度 ICT支援員との定例会の実施				配置見直し②					定例会を開き、学校におけるICT支援員の運用状況を確認したり、各学校への支援を伝えたりしている。ICT支援員が積極的に授業支援を進めることで、協働学習ソフトのメニューである「オクリンク」の使用状況が4~6月にかけて伸びている。(昨年の同時期と比べても回数は多い。)
・ ヘルプデスクの運用	教員のICTの利活用促進のため、各種ソフトや端末の操作方法等の相談や機器のトラブル対応を行い現場の教員の負担を軽減します。	●	市教委主催の研修会での周知		月1度 業務委託先との定例会の実施									【子どものオクリンク活用数・1校あたり】 4月…382.9回、5月…1393.4回、6月…2117.6回 (R3 4月…311.6回、5月…756.4、6月…1476回) 【ウチダヘルプデスク対応内容】 ・MSアカウントの作成、削除、更新、設定変更 ・端末管理及び設定変更
(4) ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーによる指導力の向上														
・ ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーの訪問指導	ICTスーパーバイザーが各校を訪問し、「New草津型アクティブ・ラーニング」の内容に沿った指導・助言を行い、教師の個別最適な学びのまとめ役としての能力の向上を図ります。スキルアップアドバイザーは、教員のICT活用指導力向上を図るため、ICTを活用した授業の指導助言や授業支援、技術支援を行います。	●	担当者の学校訪問による周知及び年間計画の作成											①ICTスーパーバイザー 訪問実績 63回 ②スキルアップアドバイザー 訪問実績 39回 ③優良事例の収集 6年 理科「ものが燃えるしくみ」 6年 理科「水溶液の性質」 中2 理科「生物の体のしくみ」 ④優良事例の周知 夏季研修講座での事例報告(参加者56名) 学力向上マネジメント会議での事例報告(参加者26名) 教材共有ポータルサイトに授業動画掲載 ⇒取組内容の詳細は【資料3】のとおり
・ 優良事例の収集と周知	教師の個別最適な学びのまとめ役としての能力の向上を図るために、優良事例を収集して実践動画や指導案等を実践事例集にまとめ、全職員に共有します。	●	収集計画及び周知方法の検討		(随時) 優良事例の収集、実践動画の作成					実践事例集・動画集の作成		市教委主催の研修会で報告	ポータルサイトへの実践事例集・動画集の掲載	→

基本目標4. 校務のデジタル化を通じた教育の情報化と情報セキュリティマネジメントの推進		年間スケジュール(案)											進捗状況(令和4年8月末時点)	
(1) 学校・保護者・地域との連携手段のデジタル化の推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
・ デジタル化の調査・研究、アプリの検討	各校の欠席連絡やアンケート調査のデジタル化を進めます。	初期設定と利用者の登録 ●	(随時) Formsによる「欠席連絡」の実施、より効果的で利便性の高いものに改善											→
・ グループウェアを活用したデジタル化の推進	現在使用しているTeamsを活用して、掲示板の運用や情報共有サイトによるデータの利活用を推進します。	校長会等でICT活用の促進呼びかけ ●	(随時) Teamsによる掲示板および学習教材等の情報共有サイトの運用											→
・ 一斉メール配信システムの運用	現在の一斉メール配信システムにURLを添付してするなどして、より多機能で利便性の高いシステムの活用を推進します。	市教委主催でICT活用の研修会を実施 ●	(随時) 受信メールからFormsによるアンケート機能やTeamsによるテレビ会議の活用、より効果的で利便性の高いものに改善											→
(2) 校務のデジタル化の推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
・ 校務支援システム、自動採点ソフト等のAIを活用したソフトウェアの調査・研究	自動採点ソフト等のAIを活用したソフトウェアについて中学校での調査・研究を進めます。		運用準備(教員への研修会等の実施) ●			→ ●	実証校による調査・研究、実践事例の収集							→
・ Web研修会・会議の実施	会議・研修会毎の議題や特性を鑑み、可能なものからテレビ会議システムを利用したオンライン化の支援を行います。	校長会等でICT活用の促進呼びかけ ●	(随時) テレビ会議システムを活用した会議・研修会の実施および支援											→
・ ペーパーレス化の推進	会議資料や教育委員会発出の学校あて文書やFAXについて、可能なものからグループウェアを活用したデータでの配布・回収を進め、ペーパーレス化を推進します。	校長会等でICT活用の促進呼びかけ ●	(随時) Teamsによる掲示板およびファイル共有機能の活用											→
(3) 情報セキュリティマネジメントの推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
・ 学校情報セキュリティに関するガイドラインの見直し(随時)	教育情報セキュリティポリシーガイドライン(文部科学省)に則り、教育現場の実態や他機関の動向、技術的な進展等を踏まえた学校教育セキュリティガイドラインの見直しを随時行います。		学校教育セキュリティ見直し及び研修プロジェクトチーム結成 ●	(随時) 国や先進自治体、他機関の情報収集、整理										→
・ 研修の実施	教職員の情報セキュリティに関する意識の醸成を目的とした研修機会を実施することで、児童生徒、教員が安全安心にICTを利用するための情報セキュリティ対策を推進します。					プロジェクトチーム会議①			研修会の実施					プロジェクトチーム会議②

本年度から全校でFormsを活用し、「欠席連絡」のデジタル化を実現し、さらに、既読機能やお便りの電子化が可能となるより利便性の高いアプリによる配信システムの予算化を検討している。
また、Teamsによる掲示板および学習教材サイトの運用を進め、教職員の情報共有のデジタル化の実践を積み重ねている。

自動採点ソフトについては、数社と実証事業を実施できるよう協議を行っている。会議および研修会については内容を精査し、オンラインでの実施とTeamsによる掲示板およびファイル共有機能を活用するよう実践を積み重ねることで、ペーパーレス化を推進している。

教育情報化リーダー情報モラル内にプロジェクトチームを結成し、現在、各校の情報セキュリティに関する情報収集を行い、課題の整理中である。
なお、11月の教育情報化リーダー研修会において、研修実施予定である。